

◆ **令和4年8月に発生した豪雨の被災に伴う第43回災害ボランティア活動**として、9月3日（土）・4日（日）福岡県久留米市田主丸町において災害復旧活動を実施しました。

今回は、令和4年8月24日記録的短時間大雨の被災に伴い久留米市社会福祉協議会から支援依頼を受け、筑後信用金庫内にて参加者を募ったものです。当金庫信和会では、通算第43回目の災害ボランティア活動となり、有志9名が参加しました。

被災は、久留米市内の草野校区および竹野校区で14軒の床上・床下浸水被害がありました。今回活動された団体は、一般社団法人蛍火、一般社団法人Camp、NPO法人がんばりよるよ星野村、くるめ災害支援ネット「ハッシュ#」、祐誠高等学校学生、久留米市社会福祉協議会および一般参加者などベテランの方々が多く、そのような中での参加となりました。

活動内容は、竹野校区で3日（土）雨天の中、当金庫6名が主に庭先に堆積した泥の運び出しや土のう積み等を中心に行いました（当日参加総数28名）。翌日4日（日）は晴天となり、竹野校区で当金庫3名は床下での泥だしを実施しました。床下の作業は、気温が高まる中、湿度が高くマスクをしたままの作業で疲れがたまりやすい作業でした（当日参加総数26名）。作業は15時で終了しましたが、ベテランの方々はその後畳下の根太のブラッシングおよび消毒など最終作業が行われました。本日で被災家屋14軒が終了しました。

復旧作業に参加されたボランティアの皆様大変お疲れ様でした。また、社会福祉協議会のスタッフ皆様お疲れ様でした、また準備等ありがとうございました。

以 上

（ 2日目の集合写真 ）



(9月3日の参加メンバー)



(9月4日の参加メンバー)



(活動状況)



(1)雨合羽を着ての泥だし



(2)防護服を着て床下の泥だし



(3)後片付け



(4)後片付け

以上